



2020年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月14日

上場会社名 株式会社データホライゾン 上場取引所 東
 コード番号 3628 URL http://www.dhorizon.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内海 良夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 内藤 慎一郎 TEL 082-279-5525
 定時株主総会開催予定日 2020年9月29日 配当支払開始予定日 2020年9月30日
 有価証券報告書提出予定日 2020年9月30日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年6月期の連結業績（2019年7月1日～2020年6月30日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	2,782	23.3	262	619.1	263	602.2	201	847.0
2019年6月期	2,256	△11.3	36	△87.4	37	△87.0	21	△89.9

（注）包括利益 2020年6月期 180百万円（742.1%） 2019年6月期 21百万円（△90.0%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年6月期	56.99	—	16.8	14.8	9.5
2019年6月期	6.02	—	1.9	2.2	1.6

（参考）持分法投資損益 2020年6月期 ー百万円 2019年6月期 ー百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	1,987	1,300	64.4	361.39
2019年6月期	1,575	1,122	71.3	317.21

（参考）自己資本 2020年6月期 1,279百万円 2019年6月期 1,122百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年6月期	532	△80	△41	1,116
2019年6月期	△76	△70	△43	705

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2019年6月期	—	0.00	—	8.00	8.00	28	132.9	2.5
2020年6月期	—	0.00	—	12.00	12.00	42	21.1	3.5
2021年6月期(予想)	—	0.00	—	16.00	16.00		29.8	

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,470	24.7	300	14.1	295	11.9	190	△5.8	53.67

※当社は売上高、利益ともに下期に偏重する傾向があるため、第2四半期連結累計期間の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期	3,565,060株	2019年6月期	3,565,060株
② 期末自己株式数	2020年6月期	24,932株	2019年6月期	24,891株
③ 期中平均株式数	2020年6月期	3,540,140株	2019年6月期	3,540,169株

(参考) 個別業績の概要

2020年6月期の個別業績（2019年7月1日～2020年6月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	2,679	26.1	297	707.9	307	603.9	242	760.3
2019年6月期	2,124	△8.9	36	△86.0	43	△83.8	28	△85.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期	68.51	—
2019年6月期	7.96	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	1,966	1,316	66.7	370.30
2019年6月期	1,570	1,113	70.9	314.61

(参考) 自己資本 2020年6月期 1,310百万円 2019年6月期 1,113百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

業績予想の背景、前提条件については、3ページの「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは医療関連情報サービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

当連結会計年度におけるわが国経済は、上半期は企業収益や雇用・所得環境の改善等を背景に全体として緩やかな回復基調で推移してまいりましたが、下半期は新型コロナウイルスの影響により急速な悪化が続き、極めて厳しい状況となりました。

当社グループの主要顧客である自治体の国民健康保険、後期高齢者医療広域連合などの保険者においては依然として厳しい財政状態が続いております。その一方で、財政状態の改善のため、保険者による予防・健康づくりの推進および医療費適正化に向けての取組が厚生労働省主導のもと進められており、当社の主力であるデータヘルス関連サービスの需要は年々高まっております。

また、生活保護法の改正により生活保護受給者への被保護者健康管理支援事業が法施行により2021年1月から必須事業となることに伴い、2019年度より当事業の円滑な実施に向けて補助金(補助率10/10)が支給される準備事業が開始されたことから、自治体の福祉事務所からのデータヘルス関連サービスの需要が急増しております。

さらに、ポリファーマシー(多くの薬を服用することにより副作用等の薬物有害事象を起こすこと)対策事業や企業・健康保険組合における健康経営への関心も高まっており、データヘルスの需要が多面で広がっております。

このような状況下で、当連結会計年度において当社グループは、保険者および福祉事務所へのデータヘルス関連サービスの販売活動を積極的に推進いたしました。なお、新型コロナウイルスの影響により一部保健事業で中止もしくは延期となるものがあつたものの、当連結会計年度において大きな影響はありませんでした。

保険者向けのデータヘルス関連サービスについては、ニーズに沿ったデータ分析・提供や各種保健事業にかかる受託業務を遂行した結果、既存顧客からの追加受注および新規顧客の獲得により順調に受注を伸ばしました。また、生活保護システム分野で実績のある北日本コンピューターサービス(株)と提携し、自治体の福祉事務所に対して新規顧客の獲得を進めた結果、大幅に受注を伸ばしました。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、売上高は27億82百万円(前期比23.3%増)となり営業利益が2億62百万円(前期比619.1%増)、経常利益が2億63百万円(前期比602.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益が2億1百万円(前期比847.0%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の状況)

資産合計の当連結会計年度末の残高は、前期末に比べて4億11百万円増加し、19億87百万円となりました。

このうち、流動資産は営業収入により現金及び預金が4億10百万円増加したことなどにより3億82百万円増加し、当連結会計年度末の残高は14億9百万円となりました。

また、固定資産に大きな増減はありません。

(負債の状況)

負債合計の当連結会計年度末の残高は、前期末に比べて2億34百万円増加し、6億87百万円となりました。

このうち、流動負債は未払法人税等の増加1億7百万円および未払消費税等の増加56百万円など納税資金の増加のほか、賞与引当金の増加などにより2億45百万円増加し、当連結会計年度末の残高は6億64百万円となりました。

また、固定負債に大きな増減はありません。

(純資産の状況)

当連結会計年度末の純資産の残高は、親会社株主に帰属する当期純利益2億1百万円により利益剰余金が増加した一方で、配当支払により利益剰余金が28百万円減少し、13億円となりました。

また、自己資本比率は64.4%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末に比べ4億10百万円増加し、当連結会計年度末には11億16百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、5億32百万円（前連結会計年度は76百万円の使用）となりました。

これは、主に税金等調整前当期純利益2億82百万円、減価償却費1億3百万円および決算賞与の引当金計上による賞与引当金の増加などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、80百万円（前連結会計年度は70百万円の使用）となりました。

これは、主に固定資産の取得による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、41百万円（前連結会計年度は43百万円の使用）となりました。

これは、配当金の支払いおよびリース債務の返済による支出によるものです。

(4) 今後の見通し

今後の経済見通しは、新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、収束の時期や感染拡大による影響が見通せないため、先行きは非常に不透明な状況であります。

本資料の発表時点において、当社グループの事業環境に対する新型コロナウイルスの影響は限定的にとどまっているため、次期の連結業績につきましては、売上高34億70百万円（当期比24.7%増）、営業利益3億円（当期比14.1%増）、経常利益2億95百万円（当期比11.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1億90百万円（当期比5.8%減）と予想しております。

次期は、引き続き全国の自治体（国民健康保険）からデータヘルス関連の需要増加が見込まれるとともに、政府の施策として都道府県国保ヘルスアップ事業の取組が推進されることから都道府県単位での新たな受注による売上高の増加を見込んでおります。一方で、新たなサービスの開発や既存サービスの機能強化を目的とした研究開発投資を売上高研究開発費率5%を超える水準で計画するなど、将来に向けての投資も積極的に行ってまいります。

上記の業績予想は、今後、新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動への影響が長引き、当社の業績に大きな影響がある場合、変更になる可能性があります。業績予想に変更があった場合は、速やかにお知らせいたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は日本国内に限定されており海外での活動がないことから、当面は日本基準を採用することとしております。今後の外国人株主比率の推移および国内他社の I F R S (国際財務報告基準) 採用動向を踏まえつつ、I F R S 適用の検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	705,507	1,116,328
売掛金	166,713	141,706
仕掛品	111,628	106,760
貯蔵品	18,121	19,473
前払費用	19,568	19,081
その他	6,214	6,847
貸倒引当金	△1,000	△850
流動資産合計	1,026,750	1,409,345
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	159,456	167,224
減価償却累計額	△83,307	△88,505
建物及び構築物 (純額)	76,149	78,719
車両運搬具	9,336	9,336
減価償却累計額	△7,645	△8,493
車両運搬具 (純額)	1,692	843
工具、器具及び備品	218,750	250,579
減価償却累計額	△175,000	△191,397
工具、器具及び備品 (純額)	43,749	59,182
土地	70,844	70,844
有形固定資産合計	192,434	209,589
無形固定資産		
ソフトウェア	174,466	192,630
ソフトウェア仮勘定	22,945	30,749
のれん	24,267	16,178
その他	404	404
無形固定資産合計	222,082	239,961
投資その他の資産		
投資有価証券	37,406	1,000
出資金	48,426	48,426
長期前払費用	3,664	2,399
長期預け金	4,320	6,346
差入保証金	30,615	31,354
繰延税金資産	10,108	39,373
その他	0	0
投資その他の資産合計	134,539	128,897
固定資産合計	549,055	578,447
資産合計	1,575,806	1,987,792

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,379	1,405
リース債務	13,140	13,362
未払金	80,062	125,194
未払費用	116,135	129,075
未払法人税等	10,810	118,791
未払消費税等	69,149	125,527
前受金	26,707	27,086
預り金	53,290	27,572
賞与引当金	47,860	96,274
その他	171	170
流動負債合計	418,702	664,457
固定負債		
リース債務	16,025	2,663
退職給付に係る負債	18,098	20,365
固定負債合計	34,123	23,028
負債合計	452,825	687,485
純資産の部		
株主資本		
資本金	456,600	456,600
資本剰余金	163,229	163,229
利益剰余金	502,786	676,228
自己株式	△16,588	△16,701
株主資本合計	1,106,027	1,279,356
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,953	—
その他の包括利益累計額合計	16,953	—
新株予約権	—	5,364
非支配株主持分	—	15,587
純資産合計	1,122,980	1,300,307
負債純資産合計	1,575,806	1,987,792

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,256,994	2,782,477
売上原価	1,131,141	1,330,333
売上総利益	1,125,854	1,452,144
販売費及び一般管理費	1,089,283	1,189,179
営業利益	36,571	262,965
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	673	704
受取家賃	450	180
助成金収入	—	263
貸倒引当金戻入額	—	150
雑収入	1,469	669
営業外収益合計	2,594	1,968
営業外費用		
支払利息	1,481	934
支払保証料	134	133
支払手数料	—	190
営業外費用合計	1,614	1,257
経常利益	37,551	263,676
特別利益		
投資有価証券売却益	—	19,240
特別利益合計	—	19,240
特別損失		
固定資産除却損	25	226
投資有価証券売却損	—	336
特別損失合計	25	562
税金等調整前当期純利益	37,526	282,353
法人税、住民税及び事業税	2,390	106,309
法人税等調整額	13,831	△21,706
法人税等合計	16,221	84,603
当期純利益	21,305	197,750
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	—	△4,013
親会社株主に帰属する当期純利益	21,305	201,763

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
当期純利益	21,305	197,750
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	166	△16,953
その他の包括利益合計	166	△16,953
包括利益	21,471	180,798
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	21,471	184,811
非支配株主に係る包括利益	—	△4,013

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	456,600	165,229	509,802	△16,588	1,115,043
当期変動額					
剰余金の配当			△28,321		△28,321
親会社株主に帰属する 当期純利益			21,305		21,305
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		△2,000			△2,000
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△2,000	△7,016	—	△9,016
当期末残高	456,600	163,229	502,786	△16,588	1,106,027

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	その他の包括利益累 計額合計		
当期首残高	16,787	16,787	—	1,131,831
当期変動額				
剰余金の配当				△28,321
親会社株主に帰属する 当期純利益				21,305
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動				△2,000
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	166	166	—	166
当期変動額合計	166	166	—	△8,850
当期末残高	16,953	16,953	—	1,122,980

当連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	456,600	163,229	502,786	△16,588	1,106,027
当期変動額					
剰余金の配当			△28,321		△28,321
自己株式の取得				△113	△113
親会社株主に帰属する 当期純利益			201,763		201,763
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	173,442	△113	173,329
当期末残高	456,600	163,229	676,228	△16,701	1,279,356

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	その他の包括利益累 計額合計			
当期首残高	16,953	16,953	—	—	1,122,980
当期変動額					
剰余金の配当					△28,321
自己株式の取得					△113
親会社株主に帰属する 当期純利益					201,763
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△16,953	△16,953	5,364	15,587	3,998
当期変動額合計	△16,953	△16,953	5,364	15,587	177,327
当期末残高	—	—	5,364	15,587	1,300,307

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	37,526	282,353
減価償却費	93,818	103,659
のれん償却額	8,089	8,089
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	634	2,267
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△49,406	48,414
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	299	△150
受取利息及び受取配当金	△675	△706
支払利息	1,481	934
固定資産除却損	25	226
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△18,904
売上債権の増減額 (△は増加)	△49,856	25,006
たな卸資産の増減額 (△は増加)	15,926	3,517
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,052	26
その他	△70,466	79,612
小計	△18,659	534,343
利息及び配当金の受取額	675	706
利息の支払額	△1,481	△934
法人税等の支払額	△69,520	△1,251
法人税等の還付額	12,441	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△76,543	532,863
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,831	△35,010
無形固定資産の取得による支出	△48,506	△94,907
投資有価証券の売却による収入	—	30,589
資産除去債務の履行による支出	△2,480	—
敷金及び保証金の差入による支出	△8,113	△923
敷金の回収による収入	6,155	184
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	19,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,775	△80,467
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△113
配当金の支払額	△28,191	△28,322
リース債務の返済による支出	△12,922	△13,140
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△2,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△43,113	△41,575
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△190,432	410,822
現金及び現金同等物の期首残高	895,938	705,507
現金及び現金同等物の期末残高	705,507	1,116,328

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、医療関連情報サービス事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり純資産額	317.21円	361.39円
1株当たり当期純利益	6.02円	56.99円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	21,305	201,763
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	21,305	201,763
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,540	3,540
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	2019年8月19日開催の取締役会決議による第4回新株予約権新株予約権の数 125個 (普通株式 12,500株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

上記以外に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略しております。